

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	36901
事業名	学校改築費					
評価担当課	所属名	教)生涯学習部 学校施設課				
	課長名	宮野	担当者名	高橋	電話番号	011-211-3835
施策名	主	道路、交通施設、上下水道、公園、河川、廃棄物処理施設等のイン				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	耐震性能及び良好な教育環境を確保する。			
		長期	昭和40年代後半から50年代にかけて建設された学校施設が多く、今後多大な維持更新費用が必要となる。改築需要を平準化しつつ、教育環境を維持するため、年3、4校の改築工事を実施しなければならない。			
	取組内容	老朽化が進んだ学校施設の改築を行う。 本町小:校舎及び屋内運動場改築等 東山小、山の手小:校舎改築等 光陽小:校舎改築等 元町北小:校舎及び屋内運動場改築等 発寒中:仮設校舎建設 二十四軒小:校舎及び屋内運動場解体工事等 発寒南小:屋内運動場解体工事等 新陽小、栄中:グラウンド造成工事 明園小、向陵中:実施設計				
実施結果	本町小:校舎及び屋内運動場改築等 東山小、山の手小:校舎改築等 光陽小:校舎改築等 元町北小:校舎及び屋内運動場改築等 発寒中:仮設校舎建設 二十四軒小:校舎及び屋内運動場解体工事等 発寒南小:屋内運動場解体工事等 新陽小、栄中:グラウンド造成工事 明園小、向陵中:実施設計					
事業実施における工夫点	保護者や地域住民の代表者等と協議をしながら改築の計画案を策定するとともに、ホームページにて公開し、広く保護者や地域住民から意見を聴いた。					
対象者	児童生徒等			開始	0 年度	終了 0 年度
関連法令・条例・要綱等	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律 地震防災対策特別措置法					
他都市の状況	他都市においても、人口急増期に建設された学校施設の更新及び耐震性能の確保が大きな課題とされている。					

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		7,427,491	7,309,000	5,936,396	11,653,000
うち特定財源		5,360,720	7,301,820	3,224,758	7,417,435
人工		3.0	0.0	0.0	0.0
人件費		21,600	0	0	0
計(事業費＋人件費)		7,449,091	7,309,000	5,936,396	11,653,000
事業費 の内訳	令和4年度決算	改築工事…本町小学校、東山小学校、光陽小学校、元町北小学校、山の手小学校 解体工事…二十四軒小学校、発寒南小学校、山の手小学校 グラウンド造成工事…新陽小学校、発寒南小学校、栄中学校 実施設計…明園小学校、向陵中学校			
	令和5年度予算	改築工事…東山小学校、光陽小学校、元町北小学校、山の手小学校、明園小学校、発寒中学校、 解体工事…本町小学校、東山小学校、発寒中学校、向陵中学校 グラウンド造成工事…二十四軒小学校 実施設計…琴似小学校、新琴似北中学校			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	①改築工事完了校数				
		令和3年度実績		令和4年度予定		令和4年度実績	令和5年度予定
		2		1		1	4
活動指標2		指標名					
		令和3年度実績		令和4年度予定		令和4年度実績	令和5年度予定
成果指標1		指標名					
		令和3年度実績		令和4年度目標		令和4年度実績	令和5年度目標
成果指標2		指標名					
		令和3年度実績		令和4年度目標		令和4年度実績	令和5年度目標
項目	判定	理由					
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	耐震性能が低く老朽化が進んでいる学校施設の改築を行うことにより、児童生徒等の良好な教育環境を確保するとともに、避難場所としての防災機能の向上を図ることができた。					
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	改築事業は文部科学省の補助事業であり、概ね補助資格面積の範囲で必要な整備を行っていることから、事業規模は適切であるとする。					
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	事業校の選定にあたっては、耐震性の低い学校を優先し、建築年度の古い施設からの改築を基本としながら、個別施設の老朽化状況、将来的な学校統合や義務教育学校として改編する学校を考慮した上で、適切な時期に改築を行っていることから、その手法は適切であるとする。					
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	耐震性能が低く、老朽化が進んでいる学校施設の改築を行うことにより、児童生徒等の良好な教育環境を確保するとともに、避難場所としての防災機能の向上も図ることができることから、対象者のニーズに込えているものとする。					
市民参加の実施	☒ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外 市民参加結果への対応 ☐ 回答 ☐ 反映						
今後の改善点	なし						
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし						
今年度取り組んだ見直し内容	なし					見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし						
評価の理由	なし						
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 休止・廃止 札幌市学校施設維持更新基本計画に基づき、実施設計、改築工事及びグラウンド造成等を実施する。維持更新基本計画は令和5年度に改定を予定しており、全体事業の調整からこれまで年3校の改築計画から、2校に変更となる予定。					
		予算	☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 ☐ その他 札幌市学校施設維持更新基本計画に定める事業校数(2校)に基づき、予算要求を行う。				
						見直し効果額	0千円